

スーパービジョン特論

[講義] 選択 30時間 2単位

《担当者名》○奥田かおり [k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp]
佐々木敏明(非) [toshiaki-s@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高度専門職としてのソーシャルワーカー・看護師を養成するためには、各フィールドの教育の高度化に加えて、実際の現場において教育・訓練や後継者を育成する臨床指導者としてのスーパーバイザーが不可欠となる。

本科目では、スーパービジョンの理論と具体的展開方法を理解するとともに、自らの教育体験や現場体験をもとに、スーパーバイザーとしての課題を意識化し、実際の現場においてスーパービジョンが展開できる実践力を習得する。

【学修目標】

1. スーパービジョンの意義ならびに機能と役割について説明ができる。
2. スーパービジョンの関係の特質や展開方法について理解を深める。
3. スーパーバイザーとしての基礎的実践力を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	・オリエンテーション ・スーパービジョンに関する基礎的理解 (欧米)	・学習の進め方と文献購読分担などを決める。 ・諸外国の文献検討によってスーパービジョンの歴史背景・諸機能・諸過程等に関して、基礎的な理解を図る。	佐々木 奥田
2	・スーパービジョンに関する基礎的理解 (日本)	・日本の文献検討によってスーパービジョンの歴史的背景・諸機能・諸過程等に関し、基礎的な理解を図る。	佐々木 奥田
3	・スーパービジョンの機能と役割	・4×4×4もでの概要についての理解を深める。 教育的機能・支持的機能・管理的機能・について学習する。	佐々木 奥田
4	・スーパービジョン関係と過程	・スーパービジョン関係と過程(契約・緒段階・コミュニケーション・パラレル・プロセスなど)について学習する。	佐々木 奥田
5	個人スーパービジョンの方法	・スーパービジョンの過程(セッション)と使用される技能や方法について学習する。	佐々木 奥田
6	個人スーパービジョンの事例	・特別講師のスーパービジョンの経験から、スーパービジョンの意義について理解を深める。	佐々木 奥田 橋本達志(特別講師)
7	・グループスーパービジョンの方法	・グループスーパービジョンの特徴と過程(ステージ)について学習する。	佐々木 奥田
8	グループスーパービジョンの事例	・事例を通して理解を深める。	佐々木 奥田
9	・スーパービジョンの倫理	・スーパーバイザーとスーパーバイジーのバウンダリーと責任、倫理的ジレンマについて学習する。	佐々木 奥田
10	・スーパービジョン実践の多様性 (地域包括支援センターにおけるスーパービジョン)	・(演習)事例を通して理解を深める。	佐々木 奥田
11	・スーパービジョン実践の多様性 (医療ソーシャルワーカーのスーパービジョン)	・(演習)事例を通じて理解を深める。	佐々木 奥田
12	・スーパービジョン実践の多様性 (精神保健領域ソーシャルワークのスーパービジョン)	・特別講師の実践(組織へのスーパービジョンシステムの導入)の経験から、システム導入における計画、実践、評価についての方法を知る。	佐々木 奥田 村田 育洋(特別講師)
13	・インタープロフェSSIONナル・ワーク(IPW)とスーパービジョン	・異なる専門職に属するスーパーバイザーとスーパーバイジーによって実施されるスーパービジョンの特性と課題を学習する。	佐々木 奥田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	・振り返り	・自らの教育体験や現場体験をもとに、スーパーバイザーとしての課題を意識化する。	佐々木 奥田
15	・まとめ	・各自のスーパーバイザーとしての課題にそって考察する。	佐々木 奥田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ディスカッションの評価（50％）最終提出レポート（50％）の方法で総合的に評価する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

その都度、紹介する。

【学修の準備】

毎回の授業終了時に、以降の参考となる資料や文献を追加し配布する場合もあり、読んで理解を深めておくことが望まれる。